

議案第89号 平成29年度宝塚市病院事業会計決算認定について

資料3 診療科別入院患者及び病床稼働率の増減理由

○平成28年度と平成29年度の入院患者の増減数

診療科	年度末正規 医師増減数	平成28年度	平成29年度	増減数	前年比	医師が増加しているのに入院患者が減になっている理由
内科	0	0	693	693	皆増	
小児科	△2	3,317	3,210	-107	97%	
外科	1	10,777	10,346	-431	96%	消化器内科からの手術を要する入院患者の減
整形外科	0	17,273	19,141	1,868	111%	
リハビリテーション科	—	0	0	0	—	
皮膚科	1	4,766	4,225	-541	89%	正規医師と嘱託医師の総数の減による入院患者の減
泌尿器科	0	5,541	6,506	965	117%	
産婦人科	0	0	0	0	—	
眼科	0	1,896	2,114	218	111%	
耳鼻咽喉科	△1	3,301	3,560	259	108%	
放射線科	1	22	9	-13	41%	
麻酔科	△1	0	1	1	皆増	
脳神経外科	0	5,811	5,421	-390	93%	
心臓血管外科	0	0	0	0	—	
心療内科	—	0	0	0	—	
歯科口腔外科	0	1,095	1,138	43	104%	
循環器内科	0	5,889	6,738	849	114%	
消化器内科	1	21,761	19,621	-2,140	90%	年度内及び年度末の医師退職による入院患者の減
呼吸器内科	0	463	2,501	2,038	540%	
呼吸器外科	0	1,996	1,880	-116	94%	
腎臓内科	0	3,671	3,201	-470	87%	
緩和ケア内科	△1	5,577	5,571	-6	100%	
血液内科	0	8,492	9,236	744	109%	
リウマチ科	1	4,035	3,835	-200	95%	通院による化学療法治療に移行したことから入院患者の減
総合内科	—	0	0	0	—	
形成外科	0	4,071	3,822	-249	94%	
腫瘍内科	1	4,420	4,358	-62	99%	通院による化学療法治療に移行したことから入院患者の減
糖尿病内科	1	0	386	386	皆増	
救急科	△1	10,369	7,626	-2,743	74%	
合計		124,543	125,139	596	100%	